

令和5年度 活動記録



◇関東大会県南地区予選会（4/18~19）

【個人】 1回戦 坂田・斎藤 秋野・西山

◇全国大会県南地区予選会（5/16~17）

【団体】 Cリーグ3位（2敗）

1試合目 本校 1－② 土浦一

2試合目 0－③ 牛久

【個人】 2回戦 坂田・斎藤 秋野・西山

1回戦 神長・三浦



◇保護者懇談会（5/20）

PTA 総会後に保護者懇談会を行い、ソフトテニス部の活動方針についてお話させていただきました。ソフトテニス部の目的は「人間形成」です。人は価値ある目標を設定し段階を追って実現していく過程で人間として大きく成長します。まずはソフトテニス部から、そして石岡一高全体に活気が出るよう尽力していきます。ただし、学校教育は学校の力だけでは成立しません。保護者の皆様の協力が必要不可欠です。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。本日はお忙しい中ありがとうございました。

◇学校説明会及び部活動体験（8/3~4）

学校説明会及び部活動体験を行わせていただきました。部活動体験では、暑い中25名ほどの参加をいただき誠にありがとうございました。練習内容としては、高校生とのラリー、サーブ練習、レシーブ練習、セオリーを意識したゲーム形式を行いました。高校生になると技術体力が高まり様々なプレーが可能になります。特にゲームにおける前衛の役割は増えるでしょう。そこで、物理的なセオリーを理解することで球に触れる機会が増え、ゲームが面白くなります。ソフトテニスの知識を増やし、勝利を目指してゲームを楽しめる選手を育てていきたいと考えています。

今後も練習見学・参加をお待ちしております。また、ご質問等あればお問い合わせください。 文責：塚原
◇夏季選手権（8/9）

【個人】 ベスト16 西山・神長
1回戦 秋野・佐藤

◇BBQ＜3年生慰労会＞（8/11）

3年生の慰労会を行いました。3年生は勝利という目標を目指して日々練習に励んできました。その過程では楽しさや嬉しさを感じる場面もあれば、苦しさを味わう場面も多かったと思います。頑張った3年生の慰労会ということで、ソフトテニスの試合とBBQを行いました。試合は団体戦形式、チームはくじ引きで決めました。久しぶりソフトテニスができ、また異学年で交流できて楽しそうでした。BBQも美味しいお肉とデザートを頬張りみんな笑顔になりました。お手伝いいただいた保護者の皆様ありがとうございました。

3年生はすでにそれぞれの進路実現に向けて本格的に取り組んでいることでしょう。ソフトテニス部の活動を通して身につけたもの活かして頑張ってもらいたいと思います。





◇県南地区新人大会 (10/24~25)

【団体】 予選リーグ敗退

【個人】 1回戦敗退 西山・神長 秋野・三浦

◇茨城県新人大会 (11/3~5)

【団体】 本校 ②—1 水戸葵陵

0—③ 下妻第一





◇スポーツナロ技術講習会（12/16）



今日は技術講習会を開催しました。講師として、東京で「スポーツナロ」を経営する皆呂充亮さんをお招きしました。スポーツナロは、日本初のソフトテニス専門店として 1986 年にオープンし、今年で 37 年目を迎えます。皆呂さんは、お店の仕事のほか、中高生の技術講習会を頻繁に開催しています。全国中学の常連校だけでなく、基礎基本を学びたい選手を対象とした講習もあり、それぞれのニーズに応える素晴らしいものです。基礎的な内容は、YouTube に映像がアップされていて、私たちも指導の参考にしています。わたくし草野が大学生の時、皆呂さんは我々のクラブチーム（法政大学）の活動をサポートして下さいました。そのご縁で今回の講習会の開催となったわけです。

今回の講習会には、石岡市内から府中中・八郷中・国府中、県西地区から下妻一高附属中、また、クラブチームの FIT 双葉台が参加して下さいました。この講習のコンセプトは「基礎的な技術の理解と定着」です。たとえばストロークですが、ラケットに当たればボールは飛びます。でもそれは「飛ばしたい場所にコントロールしている」わけではありません。何となくラケットを振り、“だいたいあの辺”にボールが飛んで行っている、というのが多くの中学生（だけでなく高校生も！）のレベルです。どの競技でもそうですが、理にかなったフォームを身に付けた選手はミスをしません（たまにはしますが…）。でも、多くの中学生や高校生は「何が正しいフォームなのか」「どうすれば狙った場所にボールを飛ばすことができるのか」を知らずにプレーしています。今回の講習

会は、「頭と体」で「こうすればこうなる」というのを理解してもらうことを目標に練習を行いました。

メニューはできるだけ少なくしようということで、バックとフォアのストロークと、残った時間でのボレーのみ。それも、ストロークはストレートに飛ばすというシンプルなものでした。ここでわたしが驚いたのは、ほとんどの生徒が同じ形のフォームになっていくということです。皆呂さんは「こうすれば、こうなる」という型を、グリップの握り方・テイクバック・インパクトの位置（打点）・フォロースルーの方向とラケットの納め方まで、すべての動きを中学生にも分かりやすい表現で伝えて下さいました。イメージとしては…体育祭のダンス練習、でしょうか。ダンスって、踊れずに終わる人はいませんよね。みんなができるようになる。そうなることで、ピラミッドの頂点にいる選手だけが伸びるのではなく、基本ができる選手が増えていく。そうして自然に高いレベルの中で誰もがプレーできる環境になっていく。とても理にかなった考え方だと思います。

今回の講習会には 100 人の生徒が集まりました。彼らがソフトテニスをよく理解することができたら、どれだけ充実した部活動生活を送れることでしょうか。どれだけ高い志を持ってラケットを振ることができることでしょうか。志の高さは人生を豊かにします。わたしにとって、上手なソフトテニス選手を増やすことは最終目標ではありません。人には「格」に見合った出会いがある、といわれます。生徒のみなさんには、ソフトテニスを通して高い目標を求める人間に成長していただき、そこでたくさんの素晴らしい出会いを得てもらえたら。それがわたしの望みです。

またやります！次回も奮ってご参加ください！！

文責：草野

◇必勝祈願（1/4）



石岡市にある常陸国総社宮で必勝祈願を行いました。朝から男女部員だけでなく顧問3人もランニング（皆さん若い）し清々しい気分になりました。二礼二拍手一礼など（「祓え給い、清め給え、神かむながら守り給い、幸

さきわえ給え」(お祓い下さい、お清め下さい、神様のお力により、お守り下さい、幸せにして下さい))も教えて、今年1年がチームにとって龍が天に昇るような飛躍の年になることを願いました。

顧問の草野が生徒に伝えたことは「まずは、昨年神様にお世話になったことを感謝すること。次に、本年の目標とその達成に向けた努力を誓うこと。最後に、努力の末もう一声という時に背中を一押しして欲しいと祈ること」でした。ただただ祈るのではなく、感謝し、努力を誓い、最後をお願いをする。頑張っている人の願いならもしかすると聞いてくれるかもしれませんね。

昨年4月に顧問3人が本校に異動し、保護者を始め様々な方に大変お世話になりました。本年も部員そしてチームの成長のために尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

文責：塚原

◇県南シングルス選手権 (1/23)

【個人】予選リーグ敗退 神長 三浦